



発行所
 財団法人 漁船海難遺児育英会
 東京都千代田区内神田
 2丁目2番1号
 鎌倉河岸ビル内
 電話 03(256)1981
 03(256)8394
 印刷 (株)連合印刷センター
 電話 03(582)8541

謹んで新年の
 お慶びを申し上げます



(チャリティーイベント会場にて)

新年のごあいさつ

財団法人 漁船海難遺児育英会

理事長 鈴木善幸

あけましておめでとございます。
 全国の奨学生・お母さん始め、本会
 を御支援いただいております各位に、
 心から新年の御祝詞を申し上げます。
 今年は、育英会設立十五周年にあたり
 ます。私も、育英事業にたづさわ
 る者一同、意を新たにして事業の充実
 に努めてまいりたいと考えております。
 奨学生の皆さんにおかれましても、ど
 うか本年を前年以上に有意義な年とさ
 れるよう祈念してやみません。
 さて、昨年を振り返りますと、数々の
 ことが浮んでまいります。まず「海
 難遺族の母・子のくらし」調査により、

奨学生諸君やお母さん方がお元気で頑
 張っておられる実態がわかり、心から
 嬉しく思います。また、この調査でお
 寄せいただいた御希望や御意見は、本
 会事業の指針として誠に貴重なもので
 あり、私どもの今後の努力目標として
 まいります。
 次に、初めて漁船海難遺児のための
 チャリティーイベントを十一月十八
 日に東京・代々木公園で開催したこと
 です。このイベントは、一般国民の皆
 さんに海難遺児を励ます運動を広く知
 らせ、これが新聞等で報道され、多くの

方々から温かい御支援をいただく大き
 な力となりました。ここに、このイベ
 ントを支えてくれた、漁船海難遺児を
 励ます全国協議会構成各団体の若い人
 々に、厚くお礼申し上げます。
 さて、なによりも御礼申し上げます。前
 年引続き漁協系統始め広く国民の皆

様から多額の御厚志を賜わり、深謝い
 たしております。ただ、高校奨学生に
 対する奨学金貸与事業の改善を図るた
 めの「励ましおじさん・おばさん会員」
 につきましては、なお、目標にはほど
 遠い状況であります。なにとぞ、第四
 期募金と併せ御支援をお願い申し上げ
 る次第であります。

漁船海難遺児のための

チャリティーイベント

漁船海難遺児を励ます全国協議会(会
 長宮原九一)と漁船海難遺児育英会は、
 昨年十一月十八日に東京・代々木公園
 の一角、NHK会館前の遊歩道で、初
 めてのイベントを開催しました。この
 イベントの目的は、漁船海難遺児育英
 活動を広く国民の皆さんに知ってもら
 い、募金活動等に関する御理解を高め
 るためです。

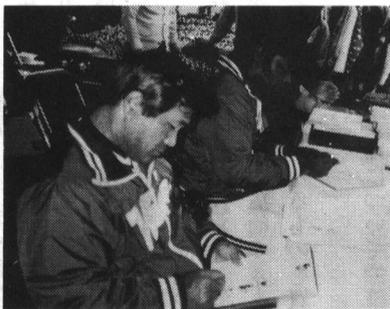
イベントの内容は、①漁船海難遺児
 の生活実態や育英事業等についてのパ
 ネル展示、パンフレットの配布、②海
 産物等の無料配布、③チャリティーサ
 イン会、④募金活動でした。また、チ
 ャリティーサイン会は、次の方々の御
 協力によるものです。
 ○ 真尾悦子氏「海恋い」海難漁民
 と女たちの頒布及び本へのサイン
 ○ 横浜大洋球団レオン選手、辻コー
 チによる色紙へのサイン
 ○ コロンビア歌手北見恭子氏による
 色紙へのサイン及びレコード、テー
 プへのサイン
 当日は、一日中曇天で雨を気にしま
 したが幸い降ることなく、落葉が舞う
 中で四千袋の冷凍イワシ(バック入り)、
 イリコ、のり等を配布しながら募金の



サイン会場での真尾悦子先生



落葉の舞う代々木公園会場



心よくサインに応じる
レオン選手と辻コーチ(手前)



熱唱する北見恭子さん

最後に、育英事業の推進にあたって
 は、本年も漁協系統並びに関係方面の
 多大の御協力をいただくこととなりま
 すが、よろしく御願ひ申し上げますと
 もに、奨学生・お母さん並びに、関係
 各位の御健勝と御発展をお祈り申し上
 げ、新年のごあいさつといたします。

呼びかけが終日行われました。
 こうした大きな催し事には、多くの
 人手を要します。これには、漁船海難
 遺児を励ます全国協議会の構成各団体
 及び漁業協同組合学校生徒、育英会と
 多くの人が、日曜日の早朝から懸命
 の活動でした。

一方、マスコミを通じ広報活動も活
 発に行われ、テレビ・ラジオ・新聞各
 社が、このイベントと前後して「漁船
 海難遺族の母・子のくらし」調査概要
 をはじめ、イベントの様子を報道して
 くれました。

第3集

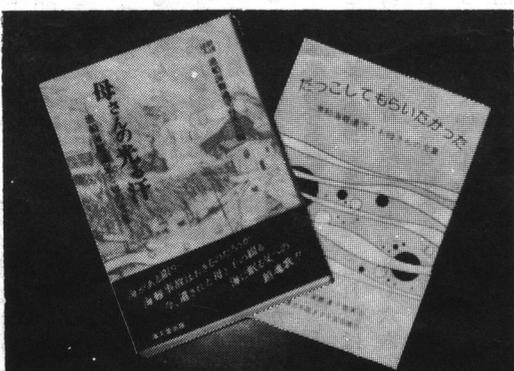
漁船海難遺児と母の文集

原稿募集

昭和六十年十月二十九日は、育英会
 が設立されて十五周年を迎えます。こ
 れを記念して、文集をつくりたい。
 これまでの文集は、次のとおりです。
 第一集「だっこしてもらいたかった」
 昭和五十年・設立五周年記念
 第二集「母さんの光る汗」
 昭和五十五年・設立十周年記念

いずれも、奨学生やお母さんから多
 くの応募をいただき立派な文集ができ
 ました。これも、皆さんが自分たちの
 文集だという気持ちで書き、応募され
 たものですから読者に大きな感銘を与
 えています。今回の第三集も、よりよ
 い文集にしたいものです。
 応募要領については、近く漁協等を
 通じおしらせしますが、次の要領で
 送ってください。
 ○ 課題——自由
 ○ 原稿の長さ等——四〇〇字詰め原稿
 用紙三〜四枚以内、タテ書き。
 ○ 締切り日——締切り日は、まだ確定
 していませんが、十月二十九日に
 皆さんのお手元に届くようにするに
 は、締切り日を七月末にしないとい
 きません。したがって、この春休
 を中心に原稿を書き上げ、逐次、育
 英会へ送ってください。

○ 応募者には、文集と記念品を贈呈す
 る予定です。



共水連「知新寮」

寮生募集のお知らせ

◎ 寮費——一カ月二
 千円程度。ただ
 し、賄いはあり
 ません。
 ◎ 寮の所在地——池
 袋駅から東武東
 上線で新河岸駅
 まで三十六分、新河岸駅から徒歩で
 十一分です。
 ◎ 申し込み方法——漁協又は本会に直接
 御連絡ください。申し込み要領を送
 付します。なお、知新寮にはすでに
 奨学生二名が入寮しています。

* 共水連「知新寮」の概要*
 ◎ 入寮資格——東京及びその近郊にある
 大学等へ進学した本会男子奨学生。
 ◎ 施設——鉄筋コンクリート四階建。風
 呂、洗濯室、トイレ、台所等は共同利
 用。部屋は六畳の洋間、個室でベット。
 机・洋服ダンス
 完備。冬季は集
 中暖房施設あり。

母の姿(イメージ)と母を思う気持ち

子供たちは母の姿をどのように捉えているのでしょうか、イメージ調査の結果をみてみましょう。

イメージとして最も多くあげられたのは「働かばち」で、三四%を占め、次いで「神様・仏様」二一%、「大木」一七%等の順でした。

「将来してあげたいこと」に於いて、男女とも「すぐしてあげたいこと」よりも、「将来してあげたいこと」の方が顕著に多くなっております。

また、「将来してあげたいこと」が増加するのは、自分が働くようになってから、お母さんを楽にしてあげたい、という感謝の気持ちに外ありません。

「子供たちの悩み」今、子供たちが悩んでいることは、男子の悩みごとでは、進学のこと、第一位にあげられ、「勉強のこと」や進学に關係した悩みにしぼられていま

「少ない父の思い出」

最後に子供たちが、胸に抱いている父の思い出にふれておきましょう。

幼い時に父を失っており、父の思い出は少ない者が多いが、父を慕う気持ちには強い。しかし、今となつてはこの点には余りふれたくない質問のようだが、男子で三二・七%、女子では五〇%の者が「思い出がある」と回答し、

「思い出がない」と答え、男女それぞれ約二七%の者は無回答でした。では、「ある」と答えた者には、どんな思い出があるのでしょうか。

男女とも「いろいろな所へ連れて行ってくれたこと」という楽しい思い出がトップでした。次いで、「父と楽しく遊んだこと」等で、やさしかったお父さんの思い出ばかりです。

この調査は、昭和五十四年を第一回とし今回が第二回目です。今後、五年ごとに実施したいと考えております。

海員会館泊利用料金の「割引きのお知らせ」

一割引きのお知らせ

このたび、財団法人日本船員厚生協会理事長から、海難遺児及び家族の泊料金を割引することに御連絡をいただいたので、お知らせします。

ただし、五十九年十二月から割引される施設は、当面、後記の十一館です。御注意ください。ほかの船員厚生施設については、今後拡大される方向であると聞いております。

(要領) 一、割引対象者 船舶の海難等により殉職された船員の遺児およびその家族(保護者を含む)。

在京大学進学者等へお知らせ

お知らせ

本会の励ましおじさん、東京都品川区の東海寺大嶽義方様から、本会男子奨学生で大学、専門学校、予備校等へ進学した者に、東海寺学生寮を無料で提供したいという連絡をいただきました。

この調査は、昭和五十四年を第一回とし今回が第二回目です。今後、五年ごとに実施したいと考えております。

「会員申込み・奨学資金の御寄付」お礼 十月から十二月までの間、新たに左記の皆様から会員の申し込みをいただき、同時に、奨学資金の御寄付を賜わりました。

「募金・寄付」お礼

基金造成

昨年中は、温かい御支援有難うございました。また、年末には、「年末カンプ」をお願いしましたところ、水産庁をはじめ漁協系統並びに水産関係団体・会社の役員の皆様から、温かいカンパを賜りました。

「十月」 〇香川県(県漁連参事萩田孝英・香典返し) 〇岡山県(三重県(第四回豊かな海づくり大会会場基金) 〇和歌山県(県信漁連企画推進課長竹本勝広ほか二件) 〇北海道(北海道漁業共済組合・創立二十周年記念) 〇北海道(小林実・香典返し) 〇香川県(上田ユキ・志々島漁協組合長故水野忠吉氏香典返し) 〇三重県(藤井一郎ほか三十一件) 〇京都府(増村艶子・香典返し) 〇長崎県(舛田有良ほか七件)

「十一月」 〇鳥取県(県漁連購買係長西根俊一・香典返し) 〇青森県(小泊漁協婦人部ほか五件) 〇北海道(羅白漁協定置漁業部会・羅白漁協定置青

川宗敏・田口絹子・三浦満・高橋千草 〇村山みつ子(東京都渋谷区) 〇大津昭一郎(神奈川県川崎市) 〇森原元夫(東京都港区) 〇(株)大日本水産会理事中村一郎 〇衆議院議員阿部文男 〇小出としえ(福岡県福岡市) 〇須藤恵子(東京都国分寺市) 〇橋本静枝(茨城県東海村) 〇阿部和子(埼玉県浦和市) 〇吉田晋松(東京都港区) 〇本間雅彦(埼玉県浦和市) 〇深海漁場開発(株)理事大田恒夫 〇農林中央金庫常務理事堀川春彦 〇農林中央金庫専務理事赤羽昭二 〇須藤美智子(東京都国分寺市) 〇鈴木和子(東京都葛飾区) 〇名嘉三直(埼玉県狭山市) 〇針ヶ谷由子(東京都港区) 〇参議院議員玉置和郎 〇宗教法人東海寺(東京都品川区)

〇一五四) 二二二一九九八 室蘭海員会館 (〇一四三) 二二一七〇〇九代 函館市海員水産会館 (〇一三八) 二二二〇六九 川崎海員会館 (〇四四) 二二三一五八九六 横浜海員会館 (〇四五) 六八一 二二四一四 横浜船員センター (〇四五) 六二二一七二八一 横浜富士見海員会館 (〇四五) 二二二一七四五 清水海員会館 (〇五四三) 五二一〇七九五 神戸大倉山海員会館 (〇七八) 三四一〇一一・〇二二二 徳山海員会館 (〇八三四) 二二一三九九四 戸畑海員会館 (〇九三) 八八一〇九九九

都道府県別奨学生数

(昭和59年12月末現在)

Table with columns for Prefecture (都道府県), Age Group (年齢), and Student Count (人数). It lists the number of students receiving scholarships across various age groups (Infant, Elementary, Middle School, High School) for each of the 47 prefectures and the total.

(注) 学資給与奨学生の()内は特殊児で外数である。

Extensive list of organizations and associations across various prefectures, including fishing cooperatives, agricultural associations, and educational institutions. The text is organized by prefecture and lists specific groups and their activities.